



# 研修会日記

【今年はコドモだけでなく  
仏婦会員の皆さんもいっしょに学びましょう。】

札挂作法

おつとめのけいこ  
ビデオでのまなび  
ごほうわ  
たくさんゲーム  
コドモは工作  
オトコは手芸

会費 一人500元

持ち タチ 聖典 セイジン  
じゅず 雜記一枚

仮婦評議員として申  
し込んでください

戰沒者追悼  
王蘭益會法要

八月八日 午後1時（受付）

獻花。獻燈  
戰沒者呼名  
燒香  
正信偈  
法話

敗戦から五十五年すぎました。

肉親を失った無念と悔恨  
とが忘れ去られようとして  
います。

全国民が戦争遺族です。  
さそいあってお参りして  
今あるいはのちを考え合いま  
しょう

つい一週間まえ、同じ村内にお葬式がありました。わたしの義理の伯父に当たる人が、73歳でなくなつたのです。

元気な時分には村の総代をズットしたりでかなりな名士だったのでしょう。県会議員や村長さんからも丁寧な弔辞を何通ももらいました。何通かあるうちどの弔辞にも「愛別離苦」ということばが読まれて、わたし聞いているあいだに、いま亡くなつた伯父の人生をめぐつてある深刻な思いに浸つてしまつたのです。

「愛別離苦」というのは、愛するものが別れていかなければならぬ苦しみということです。そうですねけれども、この亡くなつた伯父とその家族関係を目の前において、このことばを考えてみると、片寄つた解釈かも知れないけど、「愛別離苦」とは、愛し合つていいながらどうしても人間として出会うことのできない苦しみ。伯父とその家族は、実はそうした人生の苦しみを生きていたのではないだろうか。

これはしかし、伯父の家だけではない。どこの家も、実は、愛しあつてくらしている夫婦・親子でありながら、本当に夫婦として親子として出会えているのだろうか。いやむしろ、どうしても出会えない人々の人間が、モラルというか絆というか淡いはかない雰囲気

その家族の、その愛別離苦のところを越えて、すべてのひとが会える世界を求めまして、勧めているのがお釈迦様のおしえの仏教だと、ご院家さんは初七日のお説教でいわれましたが、わたしその線で、仏教のおしえを、じっくりと聞いてみようとおもつたわけです。

かれだしと血統の伯母ですか)かお通夜に  
ソット「正直言つてホットしとるんや」とも  
らしていたのが印象的でした。

これはしかし、どこの家庭でもおなじこと  
。愛別離苦のうえにあるのが家庭というもの  
と見定める方が、正しいのではないかと思いま  
す。

のなかで辛うじてバランスをたもつてゐると言ふのが家族というものの姿ではないのか。

が仏教のおしえ。では、「分別のこころ」とは。  
第一に、ものをすべて二つに分けて、そのうち自分の気に入ったほうを選び取る。「長生きはしたいが、年をとるのはいや」。  
第二は、その自分が選びとった方をかたくなに主張する自己中心的なこと。「おれは休養のために旅行にきたんだ。ただひたすらに寝るだけ。飲んで騒いで食べ歩く旅など愚の骨頂だ」。  
第三は、自己満足。記念写真を手にしたら、まず私を探す。次にほかの人と比較して、自分のすばらしさに自己満足。これは裏返せば、あの人より俺はまし。人を踏み台に自分を

蓮如さまは、とくにおみのりを聞くときには、ただ漫然と聞く。角々をがぞを聞け。たとえ一つでも、自分のものになるように聞はとおっしゃった。

今日一日の研修でなか一つ、あなたの方にして帰つてと、開会のとき山内教務所長がいわれた。

仏婦ブロック研修会に集まつたのは157名でしたが人はともあれそのうちの一人、わたしはこのように聞かせていただきました。

迷いというのは、ちょうど「ねむり」のようなもの。眠れば眠るほど眠くなる。そしてますます迷いは深くなつて、何がウソやら本当やら分別がつかなくなる。これが凡夫とよばれるわたしの姿。

詰めし。うとするいわゆる差別の発祥の地だと先生はおっしゃつた。

第4は、「われ一人よし。悪いのは他人」という分別のところ。ありますあります。人が茶碗わつたら「あの人人が割つた」といい、自分の場合は「まあ茶碗割れちゃつた」。お汁をこぼした行儀の悪い人をつめた目でみて、自分には「あらお汁こぼれちゃつたわ」と寛容そのもの。

あるある、みんなある。みんなあるのは人様にではなくて、この私にみんなある。

そんな得手勝手な、しかも何がウソやらホントやら皆目ワケのわからん自分を横において、この信心で、この修行の力でお助けをと祈る宗教があつたら、それは少なくとも仏教ではありません。

仏教とは、ほとけさまの教えです。  
ちっぽけな分別の世界に右往左往迷つて、  
る私に、あらゆる分別から越えた、無量無刃  
の真理から「ここを畢竟のよりどころに生き  
よ」ナムアミダブツと呼んでおってください  
のがほとけの教え仏教です。

仏教とは、ほとけさまの教えです。  
ちっぽけな分別の世界に右往左往迷つて、  
る私に、あらゆる分別から越えた、無量無刃  
の真理から「ここを畢竟のよりどころに生き  
よ」ナムアミダブツと呼んでおってください  
のがほとけの教え仏教です。